

9月の園だより

2019年9月2日発行
名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園



人間をとる漁師とは

園長 加藤 明宏

2学期が始まります。新学期を迎えて園では、久しぶりに出会った子どもたち同士や保育者と、夏の報告に花が咲くことでしょう。「おばあちゃんのところにお泊りした」「海に行った」「飛行機に乗ったよ」など、1学期に育まれた子どもたちと保育者の信頼関係が、伝えたい気持ちになって表れます。弾んだ声で話してくれる子どもたちの声に耳を傾け、心を通わせながら、新しい2学期をスタートしたいと思います。

夏休み中のある日、見学者と共に乳児クラスの部屋を訪ねると、ちょうど朝の礼拝の時でした。保育者の祈りに合わせて、子どもたちは祈りの準備をしようとしていました。手を組み、目を閉じて心を合わせようとする姿に、見学のご家族は驚いた様子で、豊田幼稚園が大切にしている「キリスト教保育」の一端を知ってもらうことができ感謝でした。私たち保育者は一人ひとりの子どもたちが、「人に祈られ、人のことを祈ることができる子」であってほしいと願っています。

今月の主題聖句は、「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をしなさい」(ルカによる福音書5章・4節)です。漁をしなさいとイエスに言われたシモンは、5節でこう答えました。「先生、わたしたちは、夜通し苦労しましたが、何もとれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう。」そしてシモンや漁師たちがそのとおりにすると、おびただしい魚がかかり、網が破れそうになった、と聖書は語っています。その後イエスは、「恐れることはない。今から後、あなたは人間をとる漁師になる。」と言われました。漁師たちがイエスの弟子になっていく物語です。シモンはイエスさまと出会うことで人生が大きく変わりました。神の働きを知り、その計り知れない恵みを深く心に刻むこととなります。

私たち保育者は、子ども一人ひとりが神によっていのちを与えられた者として、イエス・キリストを通して、神の愛と恵みのもとで育まれるよう準備していきたいと思っています。2学期の園生活は、運動会、柳城こどもまつり、収穫感謝祭、アドベント、クリスマスなど、神さまの恵みを知り、感じる行事が多くあります。その一つひとつが大切な準備のステップだと感じています。神さまの恵みを知る2学期でありたいと願っています。



2019年度の年主題：ことばに満たされて～ひびきあう～

9月の主題	9月のねがい
やってみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・神さまの望まれる平和を共に考え、祈る ・身体を動かしたり、ものごとにじっくり取り組む中で、試行錯誤する ・空・星・虫など自然の変化に興味をもち、友だちや保育者と思いを通わせながら関心を深める ・友だちや保育者と一緒にことば・リズム・ルールを楽しむ遊びをする
聖句	「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をしなさい」 (ルカによる福音書 5章4節)

9月の予定

マークの説明…T=体操

日	月	火	水	木	金	土	
1 	2 始業式(-日保) 2020年度 入園願書配布開始 あいさつ運動(~8日)	3 T年長	4 T年中・年少	5 見学説明会① 9:30~11:00	6	7 見学説明会② 13:30~14:30	
8	9	10 T年長 牛乳パック・アルミ缶回収	11 T年中・年少	12 高橋こども園交流会 (年長)	13 祖父母と遊ぼう	14	
15	16 祝	17 T年長	18 T年中・年少	19	20 誕生会 避難訓練	21	
22	23 祝	24 T年長	25 T年中・年少 授業料引落し	26 ふれあいデー (満3歳)	27 交通安全教室 (年長) (ちびっこおまわりさん)	28	
29	30	岡崎女子短期大学 教育実習 ~10/12					